

Weekly Report

東京お茶の水ロータリークラブ



2024-25年度RI会長 ステファニー A. アーチック

ロータリーのマジック

第2580地区ガバナー 石川 彌八郎

隔たりを取り除き、「ご縁」を大切に

ロータリー活動を
最大限に楽しもう!

2024-25年度 クラブ会長 海江田 健司

本日の卓話 まちライブラリー@ブックハウスカフェ フランス語翻訳家・まちライブラリー主催 橋爪 千代子様

司会進行

点鐘
手に手つないで
ゲスト・ビジター紹介
ニコニコボックス報告
会長報告
幹事報告
出席報告

牛島 聡会員
海江田健司会長
木宮 雅徳会員
中野 広行幹事
牛島 聡会員
海江田健司会長
中野 広行幹事
牛島 聡会員

挨拶 今年度地区青少年交換委員会副委員長 東京武蔵野 RC・大山 剛様

例会で卓話の予定が決まっていなかったところがあると聞きし、4/30 に青少年交換で行って帰ってきた学生（ローテックス）の卓話をやらせていただけるということで、海江田会長とお話しさせていただきました。楽しみにしてください。ご理解を深めていただければと思います。



ゲスト・ビジター

ゲストスピーカー
今年度地区青少年交換委員会委員長
今年度地区青少年交換委員会副委員長
次年度地区青少年交換委員会委員長
次年度地区青少年交換委員会副委員長

栗田 孝子様
武藤 寿信様
大山 剛様
鈴木 喜雄様
増田慎太郎様

挨拶 次年度地区青少年交換委員会委員長 東京 RC・鈴木 喜雄様

この委員会は子供たちのために頑張っている会なので、ぜひご協力お願いできたらと思います。よろしくお願ひいたします。



誕生日祝い

3月21日 西村美智子会員



ニコニコボックス

海江田会長 栗田様、本日の卓話楽しみにしております。
張 会員 武道を習って数十年、昨日に拳法 5 段をとりました。けがや痛い思いも沢山ありました。もう限界です。
日根野会員 卓話楽しみにしております。
大原会員 卓話楽しみです。
高山会員 栗田館長のお話しを楽しみにしています。
山田会員 栗田様よろしくお願ひ致します。
計 19,000 円 累計 800,187 円

会長報告 海江田 健司会長

・本日、地区青少年交換委員会より、今年度、次年度の委員長、副委員長の皆様にお越しいただきました。

挨拶 今年度地区青少年交換委員会委員長 東京福生 RC・武藤 寿信様

ホストクラブのお願いで 1 月からお手紙を出させていただき、理事会でも何度も審議いただきましてありがとうございます。どのクラブも大変な状況で簡単に受け入れられないということも理解していますが、しっかりと皆さんで考えていただいたことが伝わり、ご挨拶をしに大人数で来ました。どうもありがとうございます。



挨拶 次年度地区青少年交換委員会委員長 東京足立 RC・増田 慎太郎様

私は地元でして、神田神保町に住み、神田猿楽町の方で活動を構えております。先週、西村地区職業奉仕委員長にも当クラブにお越しいただきまして卓話していただきました。すごく共感が近づいたような気がします。少しずつお伺いもしたいと思いますので、今日の主旨は説明があったと思いますが、前向きなご検討いただければと思います。



幹事報告 中野 広行幹事

・次週 3 月 26 日（水）は観桜会です。
・再来週 4 月 2 日の例会は、東京ドームホテルでの開催です。理事役員会ですが、4 月度より今年度・次年度合同の理事役員会になりますので、関係者の方は 11:30 までにお集まりください。
・親子はねやすめ基金へのご協力、ありがとうございました。

<地区関係行事>

本日この後、地区ラーニングセミナーに神保会員が出席します。

ロータリーの友 3 月号の紹介 高山 肇会員

特集が「災害時のトイレ問題」で、大変大事なテーマが載っています。そこに課題が提案されているので、千代田区役所の災害対策危機管理課長を訪ねて、千代田区の現状を聞いてきました。千代田区が対応している災害トイレは、「簡易トイレ」、「仮設トイレ」トレーラーでトイレを積んでそれを設置するというもの、

「マンホールトイレ」、この3つで対応していこうと考えているそうです。千代田区は、千代田区民約69,000人、昼間来る来外者、そして勤めている方を含め、災害の想定（金曜日の夕方時間帯）で大体60万人が被災をすると考えトイレ対策をしているそうです。千代田区に避難所が19ヶ所、3つずつマンホールトイレを設置し、全体で57ヶ所のマンホールトイレ、携帯トイレは60万個くらい備蓄していて、これで対応していこうということだそうです。細かい詳細の対策は、東京都が令和7年度のはじめにマスタープランを作るので、これを見て、千代田区もマスタープランを作っていくそうです。これだけ外国からの観光客も増えている中で、千代田区の、特に神保町はトイレの数が少なく、大型商業施設もなく、古書店もなかなかトイレを貸してくれないので、トイレというのは千代田区のこれから課題になると思っています。もし卓話のチャンスがあれば、何かの機会に行政の方、防災の責任者に来ていただいて、対策の話を知りたいということもいいのかと思います。中味については、3月号をよく読んでください。

出席報告

会員数	36名	ゲスト	1名
出席	17名	ビジター	4名
ZOOM	2名	合計	24名

今後の予定

- 4/9 (水) 休会
- 4/16 (水) (於)ブックハウスカフェ
地区研修協議会の報告
- 4/23 (水) 24日(木)地区大会に振替
- 4/30 (水) (於)東京ドームホテル
ローテックス卓話
- 5/7 (水) 休会
- 5/14 (水) (於)東京ドームホテル
「親子はねやすめの報告」
NPO 法人親子はねやすめ代表理事
宮地 浩太様

つながりが生み出す 成長と活力 千代田区立四番町図書館館長 栗田 孝子様

私はいま千代田区立四番町図書館で館長として働いています。図書館というと公務員と思われる方が多いのですが、現在、公共図書館の多くは指定管理者制度を導入していて、民間企業が管理、運営を担っています。それにより様々な人材が登用される機会が生まれ、私もその一人というわけです。



高度成長にのって育った私は、大学で広告を学び、将来は広告代理店で企画制作に関わる仕事をしたいと思っていました。ところが、卒業を控えた1973年に第4次中東戦争が起こり、世界経済を揺るがすオイルショックに突入。企業は軒並み新規採用見送り、広告代理店も例外ではありませんでした。特に4大卒の女子は（会社にいつまでも居残られそうと）敬遠され、門前払い、といった状況でした。男女雇用機会均等法ができる10年前、女子は受付、お茶くみ、早く寿退社して新陳代謝を保つのが企業の常だった頃の話です。そんなとき、「雇用することはできないが、フリーランスとして仕事をすることはできる」と、ある出版社のジュニア雑誌編集長に声をかけられ、編集の道へ。「この仕事に一度足を踏み入れると、その魔力から抜けられないよ」という囁きに、なぜか心を沸き立たせてしまったのです。不確実な時代だからこその冒険心だったのかもしれませんが。

女性誌の編集ライターの仕事に就き、学んだことは、人との出会い、つながりを大切にすることでした。新しい出会いが次の出会いにつながり、発想が広がる。一話完結ではないこの仕事に魅了されていきました。もちろん、かなり荒っぽい扱いも受けましたが、新人を早く一人前にしてやろうと、育ててくれる環境があったことは幸運でした。そして、私自身を含めて女性の底力を実感したのもこのときで、後に女性だけの編集プロダクションをつくるきっかけとなりました。

一通りの仕事を経験し、60歳で一個人に戻って、興味関心のままに活動していたところ、「図書館で館長をやってほしい」と、声が掛かりました。自由度の高い出版の世界と対極にある公共の世界は私にとっては魔界のようなものでしたが、そこにまた怖いもの見たさの誘惑を感じてしまったのです。さらに、「今までの経験を生かして新しい風を吹かせてほしい」と説得されたことも私の背中を押しました。

本に囲まれた空間は、背表紙を眺めているだけで想像力が沸き立ちます。図書館は調査研究のために訪れたり、小説や趣味の本を探す場というだけでなく、目的もなくふらっと訪れ、目についた本を手取る…。そんな偶然の出会いには、宝探しのようなわくわくする面白さがあります。ところが、外側から図書館を眺めてみよう

と、区内のいろいろなところに顔を出して聞いてみると、図書館を利用したことがない人が多く、「子どもが小さい頃はよく行っていたけれど」という過去形の声も。

扉を開いて待っているだけでは、素通りされてしまう。民間なら集客に対して企業努力するのは当然ですが、公共図書館はルーティンを粛々と…、そんな印象を持ったのです。

図書館で働き始めて驚いたのは、ルールの多さでした。メインとなるのは図書資料の貸出と返却という業務ですが、接客マナー、個人情報の管理、苦情対応に至るまで、細かいマニュアルが設定されているのです。小さなことがクレームに繋がり、ときには罵声を浴びせられることもある。その対応策というわけです。「クレームを出さない」ことが目的になると、どうしても新しい試みには消極的になります。このことが、チャレンジしてもしなくても、評価は変わらない…という空気を生み出しているのではと感じました。

図書館をだれもがふらっと立ち寄れる場所にしたいという思いから、図書館の前例を見直し、いろいろなイベントを試して、来館者の反応をチェックしてみました。思った以上の集客があったものもあれば、その逆もありましたが、どちらも次に繋げる貴重なデータとなります。そのヒントが見えてきたころ、コロナによる自粛生活が始まりました。その影響が一番受けるのは子どもたちです。特に、乳幼児の1年、2年のブランクはその後の生育に大きく影響します。そこで、「マスクをしてもイベントは続ける」決断をしました。図書館では密になるため、外の会場を探していたところ、神保町のブックハウスカフェに行き着きました。いままで民間の施設でイベントを開催する前例はありませんでしたが、

ここであきらめてしまうと、これが前例になってしまうと思ったのです。ブックハウスカフェでイベントを開催したことで、新たなつながりが生まれました。ここは、絵本作家、出版、図書館関係者など、魅力あふれる人がふらっと訪れ、交流が始まる場所。図書館にもぜひ生かしたい場づくりのお手本です。常に新しい出会いが生まれ、広がっています。

公共図書館にはまだまだ高いハードルがありますが、さまざまな人との出会いを活力にして、乗り越えていきたいと思っています。



第1405回 2025年3月26日(水)

移動例会 観桜会

司会進行

点鐘

ゲスト・ビジター紹介

会長報告

角田 靖 会員

海江田健 司会長

永井 一史 会員

海江田健 司会長

ゲスト・ビジター

第2590地区・2025-26年度地区職業奉仕委員長

・横浜港北RC

角田会員同行者

岡田会員奥様

岡田会員同行者

〃 同行者

〃 同行者

〃 同行者

〃 同行者

〃 同行者

米山奨学生

桑原 薫様

能勢 貴子様

岡田 恵美様

渡辺 順子様

渡辺 真由様

秋田 貴世佳様

秋元 亜矢様

符 文 卿様

周 麗 君様

レートウイチャン様

ニコニコボックス

桑原 薫様 本日はお世話になります。よろしくお願いたします。

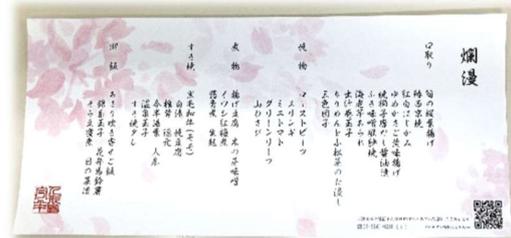
計 10,000円 累計 810,187円

会長報告 海江田 健司会長

・本日の御礼

・次週例会は東京ドームホテルでの開催です。理事役員会ですが、4月度より今年度・次年度合同の理事役員会になりますので、関係者の方は11:30までにお集まりください。

・米山奨学生レートウイチャンさんに3月分の奨学金をお渡しします。



石川ガバナーより頂戴
多満自慢「東京の森」

